

室神山

学校便り

平成30年1月16日号

江津市立江津東小学校長 安食 徹

平成30年が明け、3学期が始まりました。皆様にとりまして、今年一年が実り多き年になりますよう、お祈り申し上げます。今年も本校の教育活動に対しまして、引き続きご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

始業式で話したこと 以下のような内容を話しました。

皆さん、明けましておめでとうございます。

今日から3学期が始まります。2018年という新しい年も始まっています。今年が平成30年、明治維新から150年の区切りのよい年です。そして「戌年」です。犬は動物の中でも、最も人の心がわかる動物です。皆さんも人の心がわかる優しい人に成長してください。

去年は人権教育の研究発表会もあり、みなさんは人権についてたくさん学びました。人権感覚もしっかりと磨いてきましたね。人権を守るということは、みんなが幸せになる上でとても重要なことです。今年も人権を大切にし、自分も人も大切にして、幸せな一年にしてください。どうか皆さん、さまざまな目標があると思いますが、第一番目に「人権感覚を磨く」ということを意識してほしいと思います。

では、どうなったら人権感覚が身についてきたとわかるのでしょうか。それは次の4つのことでわかります。自分の人権感覚を測る物差しです。まずは「ありがとう」という感謝の気持ちが湧きやすくなります。今、ここで一緒にいるというのは大変な『縁』です。一つ詩を紹介します。

この詩で表されているように、不思議に気づいたら、会うだけでもありがたいことだとわかります。そうすると、生活の中で、たくさん「ありがとう」という感謝の言葉が生まれてくると思います。「ありがとう」は、「当たり前」の反対です。縁あって出会っている人とのさまざまな出来事も、相手があって体験できることです。それに気づけば、当たり前は「ありがとう」に変わります。

次に、「ごめんなさい」と素直に自分の非を認め謝ることが多くなります。「ごめんなさい」は、自分の中の「だって…」という自己正当化を乗り越えなくては

不思議 折原みと
不思議だね、ここにいること。
同じ時間の中に生まれて、
ここで、こうして出会えたこと。
こんなに広い、星の上で、
こんなに、近くに生まれたこと、
もし、この出会いが、
神様のホンの気まぐれでも。
教室で、机を並べてるみんな、
帰り道、すれちがう人たち。
隣で笑ってるあの子。
幼なじみのあいつが、
とても、不思議に、
トクベツに見えた。

なりません。人のせいにする自分のずるさ、弱さに打ち勝たなくてはできません。人の痛みを感じる人権感覚と心の強さがなければできないことです。

それから「どうぞ」と相手に譲ることが増えます。相手の立場に立つこと、しっかりと自立し、優しい気持ちとゆとりを持つことができ初めてできます。自立できればできるほど、感謝できればできるほど多くなっていくでしょう。

最後に「微笑み」です。これまでの3つができれば、自然に生まれます。また、3つがなかなかできないときには、自分から微笑むことで、この3つができるようになっていきます。「笑う門には福来たる」です。

他者を、自分と同じ存在として認め、敬意を持つことができたなら、「今、ここで」縁あって知り合えたことにも感謝できるし、さまざまな関わりの中で、「ありがとう」「ごめんなさい」「どうぞ」「微笑み」などが自然と生まれてくるでしょう。自分の生活の中で、この4つが増えてきているなど感じられたら、きっと人権感覚が身についてきているはずです。意識して生活してみてください。私自身、「人権感覚に自信がある」とはとても言えません。ましてや人様の人権感覚について、とやかく評価もできません。しかし「人権感覚を磨きたい」とは強く願っています。みなさん、お互いに謙虚に自分を見つめ、人権感覚を磨いていきましょう。

さあ、今はこうしてみんな当たり前のように集まっていますが、6年生と一緒にいられるのも3月までです。3学期は、6年生にとっては最後の小学校生活、5年生以下の人にとっては、6年生といわれる最後の学期になります。また担任の先生とも一緒に過ごす最後の学期になります。3学期は短く、一日一日が大切な日です。そう考えると3学期は当たり前の学期ではなく、特に有り難い学期だと思えてきませんか。日々、出会いを大切に、精一杯に生きていきましょう。時間を無駄遣いするのはもったいない。登校日は今日を入れても52日、6年生には49日しかありません。それを心に刻んで、互いに人権感覚を磨き、6年生を中心にみんなで協力し合いながら、感謝と敬意に溢れる素晴らしい3学期、戊年だけにワンダフルな一年にしてください。

書き初め練習会



12月13日（水）15日（金）に、3年生以上が書き初め練習会を行いました。講師の方に来て頂き、丁寧に指導して頂きました。子どもたちは集中し、一生懸命に作品を仕上げていました。本当にありがとうございました。

また、ご指導の下、書き初めに取り組んだ児童の力作が1月19日（金）まで学年の所定の場所に展示してあります。どうぞご鑑賞ください。

アサーション（さわやかな自己表現）の授業（4年生）



12月19日（火）に、4年生が研究授業を行いました。これは、今年度、浜田教育センター長期研修員として藤澤忍教諭が取り組んでいる研究のための協力として行ったものです。これまでに4回取り組んできており、今回が最終となります。研究内容は「アサーション（さわやかな自己表現）」で、本校の人権・同和教育の研究

とも深い関連がある分野です。4年生は1学期に高塚人志先生からコミュニケーション講座（赤ちゃん登校日に向けての準備学習）を受けており、内容的には、それを踏まえて、より発展させるようなものになっています。子どもたちは真剣に授業に取り組み、コミュニケーション力を磨いていました。来年度は5年生として、赤ちゃん登校日の学習に取り組むわけですが、一層の学習効果が期待できるように思います。なお、藤澤忍教諭は5月に行われる浜田教育センターの研究発表会において発表する予定です。



うそつくな・親切に…幼少期にしつけ、年収高め

去年も紹介したかなり前の記事ですが、しつけの影響力、大切さが分りますので再度紹介します。

「うそをつかない」「他人に親切にする」「ルールを守る」「勉強をする」という4種類のしつけを子どもの頃に受けた人は、どれも受けていない人より、平均年収が約86万円も高い。こんな調査結果を神戸大経済経営研究所の西村和雄特命教授らの研究グループが発表した。グループはインターネット調査会社に登録した人から無作為に選んだ9万人に調査票を送り、仕事を持つ1万3164人から回答を得た。幼少期に周りの大人からよく言われたことを8つの選択肢から選んでもらい、年収を比較した。その結果、「うそをついてはいけない」としつけられた人の年収は、平均約448万円で最も高く、しつけられた覚えがない人（同約398万円）を50万円上回った。「他人に親切にする」「ルールを守る」「勉強をする」も、しつけを受けた場合の方が、年収が約29万～15万円高かった。さらに、これら4つのしつけを全て受けた人の平均年収は約479万円で、ひとつも受けていない人（約393万円）と比べ、約86万円高かった。一方、「あいさつをする」や、「ありがとうと言う」といったしつけは、年収の高さとはほとんど関係なかった。 【平成25年9月20日（金）14時33分配信 読売新聞】

4つのしつけを全て受けた人が収入が最も高くなるということは、身につけた学力を社会に出てから、上手に発揮していく上で、「うそをつかない」「他人に親切にする」「ルールを守る」という生き方が必要なことを示しているのだと思います。

学力は確かに大事です。しかし、正直さ、誠実さ、親切心、思いやり、公德心な

どのベースをしっかりと育んでこそ、学力が生きるのだと言えるのでしょうか。そのような教育を目指し、職員一同、力を合わせて頑張っていきたいと思います。また、「あいさつをする」や「ありがとうと言う」といったしつけは、年収の高さとはほとんど関係なかったとありますが、幸福度や人間関係の充実度とは、きっと相関関係が高いはずだと想像できます。どれも大切なしつけであることは間違いのないと思います。

講演会のお知らせ

グリーンケアワーカー・精神対話士の本郷由美子先生を招き、本校で職員研修会を行います。本郷先生は、心理カウンセラー・各種セラピスト・グリーンケアの専門資格等多くの資格をお持ちです。著書に「虹とひまわりの娘」「グリーンケア 死別による悲嘆援助」「悲嘆の心理療法 ゲシュタルト療法の立場から」等があります。

また、平成13年6月8日に大阪府池田市の大阪教育大学附属池田小学校で発生した小学生無差別殺傷事件の被害児童の母親でもあります。命の大切さ、安全教育について深い研修ができると思います。本校で取り組んできた人権・同和教育にもとても関連性の高い内容になると思います。また、大変な事件を経験された先生の人生観などに触れることは、私たちが日々を生きる上で、重要な示唆を沢山頂けることと思います。

教職員対象の研修会ではありますが、興味・関心のある保護者、地域の方々のご参加を受け付けます。ご希望の方は、準備の都合上2月2日（金）までに、江津東小学校 松尾教頭（55-0003）までご連絡を頂きますようお願いいたします。

本郷 由美子 先生 講演会

『いのちの重さを見つめ続けた16年

～愛しみとともに生きる～ 』

☆日時：平成30年2月9日（金） 午後3時30分～午後5時

☆場所：江津市立江津東小学校 視聴覚室（管理棟2階）

お知らせ

児童会が中心に集めた赤い羽根共同募金5838円を、12月に社会福祉協議会に渡しました。子どもたちの温かい気持ちのこもった浄財として社会福祉に役立てられます。

また、今年度は人権教育の研究発表会があったため、学習発表会を1月27日（土）に実施します。寒く、風邪等のはやりやすい時期です。できるだけ暖房をしたいと思いますが、なにぶん広い体育館ですので、ご来校の際は、十分に防寒の用意をしてきてください。